

従軍中の若き哲学者ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタインがブルシーフ攻勢の夜に弾丸の雨降り注ぐ哨戒塔の上で辿り着いた最後の一行“——およそ語り得るものについては明晰に語られ得る／しかし語り得ぬことについて人は沈黙せねばならない”という言葉により何を殺し何を生きようと祈ったのか？ という語り得ずただ示されるのみの事実につまざる物語

THÉÂTRE DES ANNALES VOL.4